

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成20年度採択）

中間評価結果

番号	研究課題名	研究代表者	評価
20-2	ITを活用した合理的な事業マネジメントシステムに関する研究開発	東京大学 特任教授 石川 雄章	B

<研究の概要>

道路資産の老朽化に伴い維持管理がますます重要な課題となる中、限られた人員の中で、多様化する利用者ニーズへの対応や工事施工や維持管理業務の円滑な実施・管理が求められている。このため、以下の方法を用いて、ITを活用した合理的な事業マネジメントシステムの確立を目指す。

- 1) EA（エンタープライズ・アーキテクチャ）による道路行政の業務・システムの分析
- 2) 重要情報データベースと履歴情報アーカイブの設計
- 3) 「ITを活用した履歴管理と現場業務の省力化の実験（別途実施）」の成果の反映
- 4) 段階的な改善方策の検討及びとりまとめ

<中間評価結果>

本研究成果である業務・情報体系、プロトタイプを他の道路管理者等に公開し、幅広く意見を集約・反映することなどにより、現場での適用性が十分に確保されるよう、指摘事項に留意しながら、現行のとおり研究を推進することが妥当である。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

1. 高次の作業など、業務の効率化（時間短縮等）効果以外の多様な効果について明らかにすべく、研究を進めていただきたい。
2. 着実に研究計画は進められているが、最終報告書においては業務改善に伴うコストや全体としての便益の向上など、実用化に向けた具体的な成果を当事者に分かりやすいよう、目に見える形で詳細に開陳していただきたい。
3. 現場事務所での実証実験を行わない中での有効性の高い研究成果を期待したい。